

第3回総合計画審議会(共生分科会)意見及びその対応

【凡例】

○関連部分の章

章	分類
全	計画全般
は	はじめに
1	第1章 社会経済環境の変化と横須賀の基礎的な課題
2	第2章 計画の条件
3	第3章 重点プログラム
4	第4章 まちづくり政策
5	第5章 まちづくりの推進姿勢

○対応分類の番号

No.	分類
1	意見を踏まえ施策等を修正するもの
2	意見を踏まえ施策等への反映を検討するもの
3	参考意見と捉えるもの
4	策定手法に関するもの
5	質問事項と捉えるもの

H22.3.8

意見			関連部分				対応分類	考え方
No.	発言者	内容	章	大柱	中柱	小柱		
1	松本副座長	横須賀市の従業員数は、2001年から2006年の5年間で、5,000人ほど減っている。これは、小さな事業所の減少が積み重なったものなのか。あるいは、どこか大きな事業所がなくなったことによるものか。また、藤沢市は、事業所数が減っているのに、従業員は増えている。これは、1事業所あたりの規模に差が生じたのか。事業所の規模も調べておいた方が良くと思う。	全				3 参考意見と捉えるもの	【資料3の図表2～4に詳細を掲載】 事業所数は、両市とも従業員数10人未満の小規模事業所が大幅に減少し、それ以上の規模の事業所の数に大きな変動はない。従業員数では、藤沢市では、従業員300人以上の事業所において従業員数が急増しているのが大きな特徴である。また、1事業所あたり従業員数を見ると、藤沢市の従業員数300人以上の事業所においてその数値が大きく増加しており、藤沢市においては、大規模事業所の立地が近年の雇用増の主要因となっていると考えられる。

意見			関連部分				対応分類	考え方
No.	発言者	内容	章	大柱	中柱	小柱		
2	松本副座長	都心への利便性について、横浜などの東京以外の地域も見ておく必要があると思う。たとえば、藤沢市は東京方面への流れもあるが、藤沢市へ流入する動きもある。横須賀市と東京だけでなく、横浜市などとの交通利便性も踏まえた上で、人口や事業所の増加などを考えていく必要があるのではないかと。	全				3 参考意見と捉えるもの	【資料4の図表2・3に詳細を掲載】 本市は、県内主要都市の中で、市内で従業している人の総数のうち市外から通勤している人の割合が最も低い(22.4%)。これに対し、藤沢市は、市外から通勤する人の割合が最も高く(41%)、さらに本市と比べてより広い地域からの通勤者が見られる。 ※なお、横浜市への鉄道所要時間は、本市から横浜市は27分(京急:横須賀中央駅→横浜駅)。藤沢市から横浜市は19分(JR:藤沢駅→横浜駅)となっている。
3	吉川座長	藤沢市も横須賀市も事業所数は減っている。しかし、藤沢市の従業員数が増えているのは、つまり、1事業所あたりの活動が、藤沢市の方が活発であるからだと思う。	全				3 参考意見と捉えるもの	【資料3の図表2～4に詳細を掲載】 事業所数は、両市とも従業員数10人未満の小規模事業所が大幅に減少し、それ以上の規模の事業所の数に大きな変動はない。従業員数では、藤沢市では、従業員300人以上の事業所において従業員数が急増しているのが大きな特徴である。また、1事業所あたり従業員数を見ると、藤沢市の従業員数300人以上の事業所においてその数値が大きく増加しており、藤沢市においては、大規模事業所の立地が近年の雇用増の主要因となっていると考えられる。
4	吉川座長	雇用の創出は、最終的な政策目標だと思う。そのために、産業集積や商業化・商店の問題などに取組むのである。雇用の創出が起きない限り、この地域の人口、地域のGDP、所得は増えない。雇用が減れば人口も減り、市民サービスもどんどん低下するので、雇用創出は、地域としての重要な政策課題といえるのではないかと。1事業所あたりの従業者数について、横須賀市と藤沢市と比べると、横須賀市は減っているのに藤沢市は増えている。これは何故なのか、もつと考えなければ雇用は増えない。	4	2	3	2	2 意見を踏まえ施策等への反映を検討するもの	雇用は、産業政策に限らず、幅広い分野の政策を通じて創出されるものと捉えている。したがって、産業分野の一つの小柱に位置付けるのではなく、計画全体に共通する目標の一つとして、第2章「計画の条件」や第3章「重点プログラム」の中で、方向性を示していきたい。

意見			関連部分				対応分類	考え方
No.	発言者	内容	章	大柱	中柱	小柱		
5	吉川座長	特別委員会が出た鈴木委員の指摘は、非常に重要。農水産業は、ニーズがあるにも関わらず、後継者不足で人が足りないとの指摘だ。行政だけでは解決できないが、この場には、その専門の方々もいる。	4	2	2	2	3 参考意見と捉えるもの	農水産業の後継者不足の問題を捉えるのは、「2-2-2 意欲的な生産者への支援」であると考えている。現在、小柱以下の施策を詳細に書き込んだ施策体系を策定しており、ご指摘の内容は施策を検討する際の参考にする。
6	吉川座長	雇用創出は、政策目標であり政策手段ではない。つまり、雇用の創出を達成するために、インフラや、専門高校や短大が必要となり、商工会議所などではいくつかの活動が求められる。政策目標であるという認識に立ち、これを達成するために何と何をやればいいのか、考える必要がある。	4	2	3	2	2 意見を踏まえ施策等への反映を検討するもの	雇用は、産業政策に限らず、幅広い分野の政策を通じて創出されるものと捉えている。したがって、産業分野の一つの小柱に位置付けるのではなく、計画全体に共通する目標の一つとして、第2章「計画の条件」や第3章「重点プログラム」の中で、方向性を示していきたい。
7	木村(忠)委員	特別委員会の鈴木委員の指摘は、農業等に対するものだが、農業も、商業と同じように規模が小さければ生産性はあがらない。このような問題は、国の施策によらなければ解決が難しく、そもそも市が取り組むことが難しいと思うが。	4	2	2	2	3 参考意見と捉えるもの	農水産業の後継者不足の問題を捉えるのは、「2-2-2 意欲的な生産者への支援」であると考えている。現在、小柱以下の施策を詳細に書き込んだ施策体系を策定しており、ご指摘の内容は施策を検討する際の参考にする。
8	高山委員	木村委員が指摘した農業の問題について話すと、農地法は、生産性の向上等を目的として、国策によって改正されつつある。昨年12月改正の農地法では、農地の規模拡大や、土地の所有ではなく貸借によって耕作面積を増やす方向で改正され、また、農業生産法人以外の農地賃借権も可能になった。	4	2	2	2	3 参考意見と捉えるもの	参考意見として伺う。
9	高山委員	農地とは別に、農家に対する問題もある。横須賀市では、学校を卒業して農業に従事するいわゆる新規就農者は、2~3人。先日、県内の農業高等学校の卒業式があったが、農業に就業する人は0人だった。前回発言したが、生業(なりわい)として成立するののかという問題がある。20~30代の後継者と考えた場合、収入として魅力があるのかという点では、現状の横須賀の農業の規模では難しいと思う。	4	2	2	2	3 参考意見と捉えるもの	参考意見として伺う。

意見			関連部分				対応分類	考え方
No.	発言者	内容	章	大柱	中柱	小柱		
10	高山委員	横須賀市の農業で生産が最も多い地域は長井地区。ところが、40代に嫁がおらず独身者が多い。昔のように村社会の活動の中での出会いが少ない。農協という組織として、生涯現役で農業を続けていくことや、若い人が続けられるための支援は考えているが、お見合いによる支援などは、まだ行うに至ってない。後継者不足の実態としてお伝えする。	4	2	2	2	3 参考意見と捉えるもの	参考意見として伺う。
11	木村(忠)委員	お見合いの件だが、商工会議所でやっているの、ぜひご案内させていただきたい。	4	2	2	2	3 参考意見と捉えるもの	参考意見として伺う。
12	吉川座長	農業をいかに魅力的な環境にするかは、考え方を全く変えないといけない。先日、農水省の委員会で、ベンチャー企業で農業を本格的にはじめた企業を紹介した。やり方次第で、魅力的な農業を行えているところが出始めているので、実際に農業をやっている方が、視察ツアーなどを組んで、一緒に勉強してはどうか。成功をした企業には理由があるし、実際に行ってみれば、その理由がわかると思う。	4	2	2	2	3 参考意見と捉えるもの	成功事例に関する視察については、参考意見として伺う。
13	吉川座長	農業は生産性も大切だが、安全や地産地消も大切。安全なものならば、価格は2～3割高くてもいいのではないかと。米のように、輸出が可能な農作物は、輸出品との価格差の問題もあるが、輸出入が難しい野菜などの農作物は、2～3割高くとも十分可能だと思う。色々な可能性を考えなければ、農業が魅力的なものにならない。	4	2	2	1	3 参考意見と捉えるもの	参考意見として伺う。
14	吉川座長	農業だけではなく中小企業も同じで、やり方によって利益が出てくる。たとえば、日本の中小企業の上位8%は大企業より利益率は高い。いかに魅力的な環境をつくるかについては、視察ツアーでぜひ勉強してほしい。	4	2	2	—	3 参考意見と捉えるもの	成功事例に関する視察については、参考意見として伺う。
15	原田委員	特別委員会の鈴木委員から、農水産業に関する後継者不足の問題が指摘されている。漁業について話すと、全盛期は昭和30～40年代だった。市内には漁協が3つあり(長井、大楠、横須賀東部)、組合員は当時600人ほどいたが、現在は全盛期の4分の1程度に減った。このうち、40代以下の後継者は50名ほどしかいない。後継者となる子どもたちは、勉強して他の産業・職業に就いてしまっているのが現状。この理由は、他産業と比べて収入が少なく不安定であることが、一番大きな原因と思う。	4	2	2	2	3 参考意見と捉えるもの	農水産業の後継者不足の問題を捉えるのは、「2-2-2 意欲的な生産者への支援」であると考えている。現在、小柱以下の施策を詳細に書き込んだ施策体系を策定しており、ご指摘の内容は施策を検討する際の参考にする。

意見			関連部分				対応分類	考え方
No.	発言者	内容	章	大柱	中柱	小柱		
16	原田委員	漁業を魅力あるものにするには、漁業者自らの努力が必要。しかし一方で、行政としての大きな指導力にも期待したい。漁協も、副業的な産業を取り入れた安定経営により、後継者も安心して取り組める協議しているが、具体的な活動には至っていない。また、計画素案の小柱の施策に、「生産者の新たな取組みに対する支援を推進する」とあるが、詳しく聞きたい。	4	2	2	2	2 意見を踏まえ施策等への反映を検討するもの	「2-2-2 意欲的な生産者への支援」は、新しい取組みにチャレンジする人への支援に力を入れていくという姿勢を示した小柱。現在、小柱以下の施策を詳細に書き込んだ施策体系を策定しており、この中で、具体的な施策を検討する。
17	吉川座長	農業と漁業は私の専門ではないが調べてみたい。必ず何か解決策があると思う。たとえば、先日話した徳島県の「いろどり」という会社は、消費者の立場で考えたことが特徴。特殊な例かもしれないが、事例から学びうることはあると思う。農業も漁業も食べ物に関係するもので、皆、安全でおいしいものを食べたいと望んでいる。これから考えていかなくてはいけない問題だ。	4	2	2	1	3 参考意見と捉えるもの	現在、小柱以下の施策を詳細に書き込んだ施策体系を策定しており、ご指摘の内容は、「2-2-1 地産地消の推進」、「2-2-2 意欲的な生産者への支援」の施策を検討する際の参考にする。
18	木村(武)委員	前回、ファーマーズマーケットの取組みや、魚祭りに1万2千人以上の人 came という話を聞いた。「海と緑を生かした活気あふれるまち」という基本構想のテーマに沿って、こうした取組みを進めると良いと思う。また、魚祭りが1万2千人もの人を集めていることを、市民は知らない。こういうことを是非広報してもらいたい。人口減少をくい止めるには、楽しみや魅力などといった、市民として興味をそそられるものが必要であり、ファーマーズマーケットは良いと思う。	4	2	2	1	3 参考意見と捉えるもの	現在、小柱以下の施策を詳細に書き込んだ施策体系を策定しており、ご指摘の内容は、「2-2-1 地産地消の推進」、「2-2-2 意欲的な生産者への支援」の施策を検討する際の参考にする。
19	木村(武)委員	衣食住に加え、産業も必要だ。吉川座長から、雇用の創出は目標であって手段ではないとの話があった。市議会の鈴木委員が指摘するように、雇用の創出は目標として小柱に立ててほしい。現在の体系で、「雇用の安定化」に関する記載があるが、勤めている方の安定で、創出の視点がない。目標にすれば、そのための手段が出てくると思う。	4	2	3	2	2 意見を踏まえ施策等への反映を検討するもの	雇用は、産業政策に限らず、幅広い分野の政策を通じて創出されるものと捉えている。したがって、産業分野の一つの小柱に位置付けるのではなく、計画全体に共通する目標の一つとして、第2章「計画の条件」や第3章「重点プログラム」の中で、方向性を示していきたい。
20	高山委員	これまで農協は、ものをつくることに多くの時間を費やしてきた。これからは、前回発言したように、1次産業に、加工やサービスを加えて6次産業化する仕組みが必要だと思う。たとえば、週末に三浦半島にドライブに来て、海をみて、長井にあるソレイユの丘で子どもを遊ばせて、帰りには観光農園やファーマーズマーケットに立ち寄るといったことが考えられる。津久井浜の観光農園の蜜柑や苺は、価格は高いが、それでも大勢の人が来る理由は、家族で楽しめる付加価値があるからだ。	4	2	2	1	3 参考意見と捉えるもの	現在、小柱以下の施策を詳細に書き込んだ施策体系を策定しており、ご指摘の内容は、「2-2-1 地産地消の推進」、「2-2-2 意欲的な生産者への支援」の施策を検討する際の参考にする。

意見			関連部分				対応分類	考え方
No.	発言者	内容	章	大柱	中柱	小柱		
21	高山委員	来年の6月には、長井地区にファーマーズマーケット、観光農園、体験農業を整備する計画がある。近くにはソレイユの丘もあって子どもも遊ばすことができる。普段の夕食のおかずを買いに行くことはないかもしれないが、地域外からの集客施策として、農業にとどまらない6次産業化を目指していくことを考えながら計画をつくっている。	4	2	2	1	3 参考意見と捉えるもの	現在、小柱以下の施策を詳細に書き込んだ施策体系を策定しており、ご指摘の内容は、「2-2-1 地産地消の推進」、「2-2-2 意欲的な生産者への支援」の施策を検討する際の参考にする。
22	木村(忠)委員	高山委員のお話のように、「普段の生活と違うものを目指す」という点で、たとえば、生活で使うものはなるべくまとめて買いたいという消費者の行動のもとで、スーパーマーケットは発展してきたが、そういうものとは違うということを認識しておくてはいけない。伊勢原農協は、出荷できない野菜を農協に持ち込めば農協がそういう機能を果たしており、農家にとって小さからぬ収入になっていると聞いている。日常の生活にかかわる商品とは別の視点が重要だと思う。	4	2	2	1	3 参考意見と捉えるもの	現在、小柱以下の施策を詳細に書き込んだ施策体系を策定しており、ご指摘の内容は、「2-2-1 地産地消の推進」、「2-2-2 意欲的な生産者への支援」の施策を検討する際の参考にする。
23	吉川座長	以前カナダのバンクーバーに住んでいたが、そこにもファーマーズマーケットがあった。観光農園も重要だが、一方で日常的にわざわざ築地の魚市場に行かなくても新鮮なものを買える場があってもよいのではないかと。鎌倉には、フィッシャーズマーケットのようなものがあるようだが、そういうものがあると、住んでいる人たちにとっても楽しい。どのようにすれば儲かるのか、という運営面は計算が必要だが、「あそこに行けば美味しいものが食べられる」と分かれば人は集まってくる。そういう取組みによって、農業や漁業の魅力を高めなければ、良い人材も集まらない。	4	2	2	1	3 参考意見と捉えるもの	現在、小柱以下の施策を詳細に書き込んだ施策体系を策定しており、ご指摘の内容は、「2-2-1 地産地消の推進」、「2-2-2 意欲的な生産者への支援」の施策を検討する際の参考にする。
24	松本副座長	素案の体系では「2-2-2 意欲的な生産者への支援」において、他の委員から話があった新規就労支援が行われるようだが、意欲的な方だけではなく、新たに担い手となって頂く方の雇用も含めることが出来ればと思う。「2-2 魅力あふれる農水産業」に新たに小柱をつくるのか、説明で書き込むとかの整理があるとよいと思う。	4	2	2	2	3 参考意見と捉えるもの	農水産業の後継者不足の問題を捉えるのは、「2-2-2 意欲的な生産者への支援」であると考えている。現在、小柱以下の施策を詳細に書き込んだ施策体系を策定しており、ご指摘の内容は施策を検討する際の参考にする。

意見			関連部分				対応分類	考え方
No.	発言者	内容	章	大柱	中柱	小柱		
25	松本副座長	「2-3 産業の成長支援と企業誘致」も、雇用の創出につながるもので、それがわかりやすく、見やすい形であれば良い。	4	2	3	-	2 意見を踏まえ施策等への反映を検討するもの	雇用は、産業政策に限らず、幅広い分野の政策を通じて創出されるものと捉えている。したがって、産業分野の一つの小柱に位置付けるのではなく、計画全体に共通する目標の一つとして、第2章「計画の条件」や第3章「重点プログラム」の中で、方向性を示していきたい。
26	松本副座長	しかし、小柱を新しく立て、あれもこれもやると良いことはわかるのだが、市の財政が厳しい中で、施策の数が増えてしまうことも気になっている。つまり、今後、財政状況が変わらなければ、柱の数が多いほど、それぞれの中身が小規模になってしまう。そういった意味で、一方では柱を減らすことも考える必要があるということ。柱としては欲しいところだが、どうするかという判断が求められる。	4	2	-	-	3 参考意見と捉えるもの	ご指摘のとおり、選択と集中にも関係する問題なので、小柱を修正する際の参考意見として伺う。
27	松本副座長	以前は、週末に子ども達をつれて横須賀によく遊びに来ていた。東京方面から車ですぐ来れて海もあり、可能性のある地域だと思う。藤沢よりも車で行きやすい。	4	1	1	-	3 参考意見と捉えるもの	参考意見として伺う。
28	松本副座長	週末だけ来るというウイークエンドハウスなどの可能性もあるのではないかと。定住は難しいかもしれないが、最近注目されている、2地域居住のような要素があってもよいと思う。	4	1	1	-	3 参考意見と捉えるもの	現在、小柱以下の施策を詳細に書き込んだ施策体系を策定しており、ご指摘の内容は、「1-1 人を呼び込む環境づくり」の施策を検討する際の参考にする。
29	松本副座長	遊びや食の部分も重要な要素。背後には東京という巨大市場があるので、うまく生かせれば、横須賀は可能性がある地域だと思う。	4	1	1	-	3 参考意見と捉えるもの	現在、小柱以下の施策を詳細に書き込んだ施策体系を策定しており、ご指摘の内容は、「1-1 人を呼び込む環境づくり」の施策を検討する際の参考にする。
30	吉川座長	「住む、働く」という面で、魅力的なまちにすることが大きな目標である。そのため、いくつかのことに取り組む必要があると認識をしている。たとえば、シリコンバレーは、住んでみるととても魅力のある地域である。いくつものフィッシャーズマーケットがあり、気候も良く、多くの大富豪がリタイアしてこの地域に住んでいる。横須賀市も、そうなる可能性はあると思う。そのための達成方法がいくつかの政策手段になる。	全	-	-	-	3 参考意見と捉えるもの	参考意見として伺う。

意見			関連部分				対応分類	考え方
No.	発言者	内容	章	大柱	中柱	小柱		
31	木村(忠)委員	前回、加藤委員がおっしゃっていたが、YRPにはNTTの方々が大勢通っている。こういう人たちに定住してもらうような仕組みも必要ではないか。	4	1	1	—	3 参考意見と捉えるもの	YRPの従業員に限定した定住施策を基本計画に盛り込むのは難しいが、参考意見として伺う。
32	吉川座長	国際標準で住みやすいまちにすることが必要。外国人が住みやすいまちをつくるということは、国際標準で住みやすいまちをつくることに他ならず、それは、日本人にとっても住みやすいまちだ。日本は、短期滞在の外国人にとっては、物価もさほど問題ではなく、大変に住みやすい街なのだが、長期となると住みにくい。これは、子弟・子女の小中学校の問題があるからだ。先ほど、YRPの話があったが、横須賀の住宅地について、住みやすく魅力的であるといわれるような海外の住宅地と比較するのも良いかもしれない。	全	—	—	—	3 参考意見と捉えるもの	参考意見として伺う。
33	木村(忠)委員	JR線は、停車時間が非常に長く、京浜急行などが先に出発してしまうこともよくある。あれほど長時間停車する必要があるのかなと思うこともある。横須賀市から、JRに積極的に働きかけていただければと思う。	全	—	—	—	3 参考意見と捉えるもの	JRへの要望事項については、毎年、神奈川県を經由して要望書を出している(神奈川県鉄道輸送力増強促進会議要望事項)。なお、最近では、JR横須賀線への要望として、「逗子駅での増結・切り離し時間の短縮」などを出している。ご指摘の点については、今後の参考にする。
34	小林委員	雇用や活力を生み出すためには、現在の延長線上での発展は難しく、今後は、横須賀市の立地特性や地域の個性などを活かしていく必要がある。そのためには、横須賀市の強みを整理すると、これからの役に立つのではないか。	3	—	—	—	6 質問事項と捉えるもの	重点的な取組みを示す「第3章重点プログラム」で、横須賀が持つ強みを「市のリソース」として掲げている。この点について、今後、総合計画審議会の中で詳しく説明していく。
35	青木委員	これから社会に出ようとする人にとっては、横須賀の就職に関する情報が集積されている、いわゆる「ポータル」がほしい。横須賀で働こうと思うシーズがどんなにあっても、認知されなければ、無いのと一緒に。そのためには、情報が集積された場が必要だと思う。	4	2	4	1	3 参考意見と捉えるもの	就職情報の提供は、「2-4-1 就労支援の充実」で捉えている。就職情報の一元的な収集と提供ということに関して、市がどこまで関われるかは難しい問題だが、現在、小柱以下の施策を詳細に書き込んだ施策体系を策定しており、参考意見として伺う。

意見			関連部分				対応分類	考え方
No.	発言者	内容	章	大柱	中柱	小柱		
36	青木委員	たとえば、福祉業界の求人など、業界別にはインターネットや情報誌も沢山あるが、場所が区切ると、情報が少ない。実家から出たくないから、横須賀で働きたいと思う人はいる。その人達が、横須賀には仕事があるのだろうかと思っても、探すための手段が一切ない状況で、あったとしても認知されていない。つまり2段階の認知が必要だ。まず、仕事自体があるという認知で、次に、そういうことを知るための場に関する認知だ。もし、そういった場がなければ、たとえ雇用があっても誰も気づかず、働きたい人も来ない。場をつくって積極的に発信しなくてはいけないと思う。	4	2	4	1	3 参考意見と捉えるもの	就職情報の提供は、「2-4-1 就労支援の充実」で捉えている。就職情報の一元的な収集と提供ということに関して、市がどこまで関われるかは難しい問題だが、現在、小柱以下の施策を詳細に書き込んだ施策体系を策定しており、参考意見として伺う。
38	青木委員	私自身、都会に住んでみたいと思う気持ちはあるが、いつかは横須賀に戻りたい。タイミングとしては、退職してからではなく5~6年で戻ってきたい。また、もしも、市内で地域に貢献できる仕事があれば、自分の育った街なのでぜひ働きたい。今の若者はそういった志向がないと言われているが、私の周辺は違う。「神奈川や横須賀っていいよね、そこで働けたらいいのよね」と言っている友人が沢山いる。	4	2	3	-	3 参考意見と捉えるもの	参考意見として伺う。
39	木村(武)委員	年代によって、横須賀に戻りたい、住みたいと強く思う時期があったり、市外へ出てみたいと思う時期がある。たくさん帰ってきてほしいものだ。	4	2	3	-	3 参考意見と捉えるもの	参考意見として伺う。
40	吉川座長	世界銀行で働く途上国の出身の方に、なぜ世界銀行につとめているのかと聞いたことがある。母国で働きたいけれど働く場がないと言っていた。生まれ育った場所で、高給をもらって働くことができれば、それが一番いい。横須賀市でも、若者にとって魅力的な職場ができればいいと思うし、ベンチャー企業を起すために戻ってきてくれるようになると良いのだが。	4	2	3	-	3 参考意見と捉えるもの	参考意見として伺う。
41	林委員	徳島県上勝町の「いろどり」の取組みを、テレビで見た。実際に仕事している方は年配の方々に、自分の家や山にあるものを別の形で使うという、とてもユニークな形態だった。いろどりには、各戸に仕事を配分するような、センター機能がある。活動を行うためには、このセンターのような基盤となる仕組みが必要だと思う。横須賀市は、組織づくりはできるのだが、いざ動く段階で、なかなか上手くいっていない。また、こうした取組みには、JAや漁協などのコネクションもとても重要になる。ただ、上勝町の場合のように、全く関係のない方が、JAに入って成功する例もあるが。	4	2	2		3 参考意見と捉えるもの	現在、小柱以下の施策を詳細に書き込んだ施策体系を策定しており、ご指摘の内容は、「2-2-1 地産地消の推進」、「2-2-2 意欲的な生産者への支援」の施策を検討する際の参考にする。

意見			関連部分				対応分類	考え方
No.	発言者	内容	章	大柱	中柱	小柱		
42	林委員	雇用促進について、小柱の内容に、行政として具体的にどのくらいできるのかということが書かれることが必要だと思う。小柱の説明文を見ると、「様々な方法で広く発信する」、「新たな取組みに対する支援を推進する」、「整備を推進する」、などと書かれているが、この裏付けになるような取組みが、1、2例示されればありがたい。	4	2	2	—	1 意見を踏まえ施策等を修正するもの	現在、小柱以下の施策を詳細に書き込んだ施策体系を策定しており、5月の総合計画審議会にお示しする予定。
43	吉川座長	つまり、プロジェクトを示すということ。たとえば、いろどりというプロジェクトで葉っぱを売る、ファーマーズマーケットを設置する、などのイメージだと思う。そういうものがパラパラとかかかれていると良い。	4	2	2	—	1 意見を踏まえ施策等を修正するもの	現在、小柱以下の施策を詳細に書き込んだ施策体系を策定しており、5月の総合計画審議会にお示しする予定。
44	吉川座長	先ほどから話にあるようなイベントなども、既に市としてどういうアプローチがされているのかわかれば、「継続することがよい」とか、「全然足りない」など、意見を言うことができる。	4	2	2	—	1 意見を踏まえ施策等を修正するもの	現在、小柱以下の施策を詳細に書き込んだ施策体系を策定しており、5月の総合計画審議会にお示しする予定。
45	加藤委員	漁協さんも農協さんもとでも苦労している。労多くして報いが少なく、若い人がどんどん流出して、川崎や東京で働いている。やはり、企業誘致やベンチャー企業の育成などで、人口流出を抑制していかななくてはいけない。	4	2	3	2	3 参考意見と捉えるもの	企業誘致については、「2-3-2 企業・研究開発機関等の誘致」で捉えている。また、ベンチャー支援については、「2-3-3 新規事業者の起業支援」で捉えている。
46	加藤委員	先日、横浜の三吉橋のアーケード街に行ったが賑やかだった。ここには、横須賀から高速バスを利用して買い出しに行っている方もいるそうだ。横須賀でもそういう仕掛けを考えていただきたい。三吉橋には演芸場もあり、客入りも良い様子。買い物をしながら演芸場でも楽しんで帰ってくるという感じた。ものを売る以外の集客も考えないとダメなのではないか。	4	1	1	—	3 参考意見と捉えるもの	集客施策については「1-1 人を呼び込む環境づくり」で捉えている。現在、小柱以下の施策を詳細に書き込んだ施策体系を策定しており、ご指摘の点は参考にする。
47	加藤委員	横須賀は、年寄りにとって非常に住みやすいところ。医療機関も多いし、山や海もある。しかし、若い人にとっては仕事があることが重要で、横須賀にそれがない。つまり雇用問題なのだと思う。	4	2	3	2	2 意見を踏まえ施策等への反映を検討するもの	雇用は、産業政策に限らず、幅広い分野の政策を通じて創出されるものと捉えている。したがって、産業分野の一つの小柱に位置付けるのではなく、計画全体に共通する目標の一つとして、第2章「計画の条件」や第3章「重点プログラム」の中で、方向性を示していきたい。
48	加藤委員	漁業に関しては、獲った魚が高く売れ、やればやるほどお金になるようになってほしいと思う。それにはどうしたらいいのか、難しい問題だが考えていかななくてはいけない。	4	2	2	—	3 参考意見と捉えるもの	参考意見として伺う。

意見			関連部分				対応分類	考え方
No.	発言者	内容	章	大柱	中柱	小柱		
50	加藤委員	やはり、第一番に企業誘致に取り組んで頂きたい。若い人が横須賀で働くことができる。人口流出の抑制や雇用創出につながる。	4	2	3	2	3 参考意見と捉えるもの	企業誘致については、「2-3-2 企業・研究開発機関等の誘致」で捉えている。
51	原田委員	西部地区内には、長坂に処理場が1つあり、東側の野比地区の処理水も全てここに集められている。処理場の性能は素晴らしいが、1か所に集められているが故に放水量が多い。海の中に大量の淡水が流れ込むので、海の環境にも影響があるのではないかと。たとえば、小田和湾では、海苔の養殖がほとんどできなくなっている。もちろん処理水の影響とは言えないが、環境に影響を与えないように、処理場を集約してつぐらないといったことも考えていく必要があるのではないかと。	4	5	3	2	3 参考意見と捉えるもの	市の下水処理施設は全体的なバランスを考慮して現在の場所に建設された。集約してつぐらないよう考えるべきとご指摘だが、今後、新たな下水処理施設を建設する予定はない。また、西地区の処理水の放流量については今後も大きくは増加しない見込みである。なお、海苔の養殖への影響については、気候や湾内、沿岸部の構造・環境条件の変遷等の複雑な要素が多くあると考えている。
52	木村(忠)委員	横須賀市の処理場では、微生物も使って非常にきれいになっている。ただし下町地区は合流なので、大雨がふると汚いものも流してしまう。もう少し調べないといけない。	4	5	3	2	3 参考意見と捉えるもの	ご指摘のように、下町地区は合流式下水道で整備されている区域があるが、平成17年度より合流式下水道の改善に取り組んでおり、雨水滞水池の整備や、汚水バイパス管の敷設等の施策により、平成25年度までに分流式下水道並みの汚濁負荷量を達成するよう事業を推進している。
53	林委員	海苔は、東京湾や多摩川河口で行われているような半海水、つまり汽水の方がよく育つ。水深が浅くて、干潟のようなところが望ましいのだが、そのような場はあまりないので、筏のようなものを使って育てている。時期としては、2月くらいまでの水温が低い時期に大きく繁殖する。排水があると、海水の表面温度は物理的には高くなる。つまり、排出される水によって温度がどうかかわるのかが大きな問題かと思う。	4	5	3	2	3 参考意見と捉えるもの	海水温については地球規模で上昇傾向を示しているとのデータもあり、気候や湾内、沿岸部の構造・環境条件の変遷等の複雑な要素が多くあると考えている。
54	吉川座長	雇用と住みやすい横須賀ということは、共通した問題。農業も、漁業も、公園も関係していて、この大柱の一番重要な要素の一つだと思う。	全	-	-	-	3 参考意見と捉えるもの	参考意見として伺う。

意見			関連部分				対応分類	考え方
No.	発言者	内容	章	大柱	中柱	小柱		
55	木村(武)委員	現在の「2-4 雇用の安定化と働く環境の充実」に、雇用創出という題目を入れることはできないか。	4	2	4	-	2 意見を踏まえ施策等への反映を検討するもの	雇用は、産業政策に限らず、幅広い分野の政策を通じて創出されるものと捉えている。したがって、産業分野の一つの小柱に位置付けるのではなく、計画全体に共通する目標の一つとして、第2章「計画の条件」や第3章「重点プログラム」の中で、方向性を示していきたい。
56	木村(忠)委員	お願い事項として、ユニバーサルデザインなどの横文字はできるだけ使わないで頂きたい。日本にはせっかく漢字文化があるのだから、是非お願いしたい。	全	-	-	-	1 意見を踏まえ施策等を修正するもの	最終的には、用語の解説や注釈を入れるようにする。
57	木村(忠)委員	人権を尊重するまちづくりに関する問題として、「義務」も書かれるべきではないだろうか。たとえば、基地問題も、削減するとあるのだが、国民が一人ひとりお金をだして体を張って守るべきことが書かれずに、基地がなければ良いということだけが書かれるようでは平和にならない。国という、国民ひとりひとりが守らなくてはいけないものについて、人権を優先することで、疎かにしているように感じる。教育も同様に、この視点が抜けている。	4	4	4	1	3 参考意見と捉えるもの	参考意見として伺う。
58	吉川座長	ユニバーサルについては、カッコ書きで説明を入れてもいい。漢字についても同じように、定義を入れるようにすべき。漢字で書く旨点としては、パッと見てわかったような気になってしまい、きちんと定義を考えない、という側面があることだ。	全	-	-	-	1 意見を踏まえ施策等を修正するもの	最終的な計画書では、用語の解説や注釈を入れる。
59	吉川座長	基地の問題は横須賀市としては避けて通れない。まとめのコメントは難しいが、町全体としては縮小した方がいいだろうし、横須賀が基地を持っている必要も必ずしもないと思う。しかし現実問題としては、基地があるわけだから、どう考えるのかという視点が大切だと思う。	4	2	6	-	3 参考意見と捉えるもの	参考意見として伺う。
60	高須委員	基地にも雇用がある。木村委員の指摘はまさにそのとおり。私は浦賀に住んでいるが、浦賀駅では、6時過ぎから通勤のピークが始まる。まずは、東京方面へのピークがあり、8時頃から横須賀市内や近場に通う方が、その後は市内のサービス業の方々が駅を利用している。こういう状況を見ていると、やはり市内の雇用の創出は重要課題として進めてほしい。	4	2	3	2	2 意見を踏まえ施策等への反映を検討するもの	雇用は、産業政策に限らず、幅広い分野の政策を通じて創出されるものと捉えている。したがって、産業分野の一つの小柱に位置付けるのではなく、計画全体に共通する目標の一つとして、第2章「計画の条件」や第3章「重点プログラム」の中で、方向性を示していきたい。

意見			関連部分				対応分類	考え方
No.	発言者	内容	章	大柱	中柱	小柱		
61	高須委員	平成15年に、住友重機械工業が工場を閉鎖してからはご覧の通りの状態で、改善されていない。若い人来てもらいたいと思っているが、若い人が入りにくい、受け入れにくい風土もあるのかもしれない。地元として改善していかなければと思っている。	全	-	-	-	3 参考意見と捉えるもの	参考意見として伺う。
62	小林委員	前回の指摘を踏まえ、「5-4-3 ごみの資源化・減量化の推進」が、「5-3 快適な暮らしを支える基盤づくり」の小柱に修正された。修正後の小柱の位置は、上下水道の後ろにすることも検討いただきたい。	4	5	4	3	2 意見を踏まえ施策等への反映を検討するもの	「5-3 快適な暮らしを支える基盤づくり」の小柱の順番は、再度検討する。
63	吉川座長	経済的にこの地域をどのように豊かにしていくのかを考える上で、雇用創出を考えずに豊かになることはあり得ない。大前提として雇用の創出があるということを全体会で強調していく。	4	2	3	2	2 意見を踏まえ施策等への反映を検討するもの	雇用は、産業政策に限らず、幅広い分野の政策を通じて創出されるものと捉えている。したがって、産業分野の一つの小柱に位置付けるのではなく、計画全体に共通する目標の一つとして、第2章「計画の条件」や第3章「重点プログラム」の中で、方向性を示していきたい。
64	高須委員	ごみの件について、不法投棄についても記載してほしい。現実問題だし、住民サイドとしてはやりきれないところがある。	4	5	2	1	2 意見を踏まえ施策等への反映を検討するもの	ごみの不法投棄に対する対策については、「5-2-1 環境保全対策の推進」で捉えている。現在、小柱以下の施策を詳細に書き込んだ施策体系を策定しており、この中で、具体的な施策を検討する。
65	松本副座長	修正したゴミの減量化・資源化に関して、「5-3 快適な暮らしを支える基盤づくり」は、主に公共施設の管理運営を見ているところだから、ここにゴミ処理の記載があるのは、並びが奇異に感じる。ここには、管理・運営だけにとどまらないことが書かれるということなら、書く内容、書き方の問題だけかもしれないが。	4	5	3	-	2 意見を踏まえ施策等への反映を検討するもの	ご指摘のとおり、「5-3 快適な暮らしを支える基盤づくり」で掲げる小柱は、管理・運営に関するものが多い。しかし、内容的には建設や整備なども含まれている。このことを正確に表現できるよう、中柱の説明も見直していく。

意見			関連部分				対応分類	考え方
No.	発言者	内容	章	大柱	中柱	小柱		
66	松本副座長	道路・交通環境問題は、都市マスなどの個別の計画で考えるのかもしれないが、たとえば、市内の交通をどうするのか、エネルギーを使わない交通のことを考えなくていいのか、公園の整備についても、子どもが沢山いた時代の公園の作り方を踏襲して児童公園を一生懸命つくっても意味が無く、お年寄りを中心に、散歩のための公園をつくろうとか、こういった考え方をどこかで記載する必要があるのではないか。管理運営について書いてあるが、市民が使うかたちのあり方まで、書いて頂きたいと思う。	4	5	3	-	3 参考意見と捉えるもの	交通環境などについては、「1-3 陸と海に広がる総合的なネットワークづくり」の小柱で示している。また、自然を生かした公園は、「2-1 自然環境の保全・創出による潤いのある地域づくり」の小柱で捉えており、「都市基盤としての公園」と「自然を生かした公園」を分けて記載している。さらに、公園整備の仕方については、「4-2 ユニバーサルデザインのまちづくり」の小柱で、お年寄りなどにも使いやすい公園整備を考えている。なお、現在、小柱以下の施策を詳細に書き込んだ施策体系を策定しており、ご指摘の内容は、施策を策定する際の参考にする。